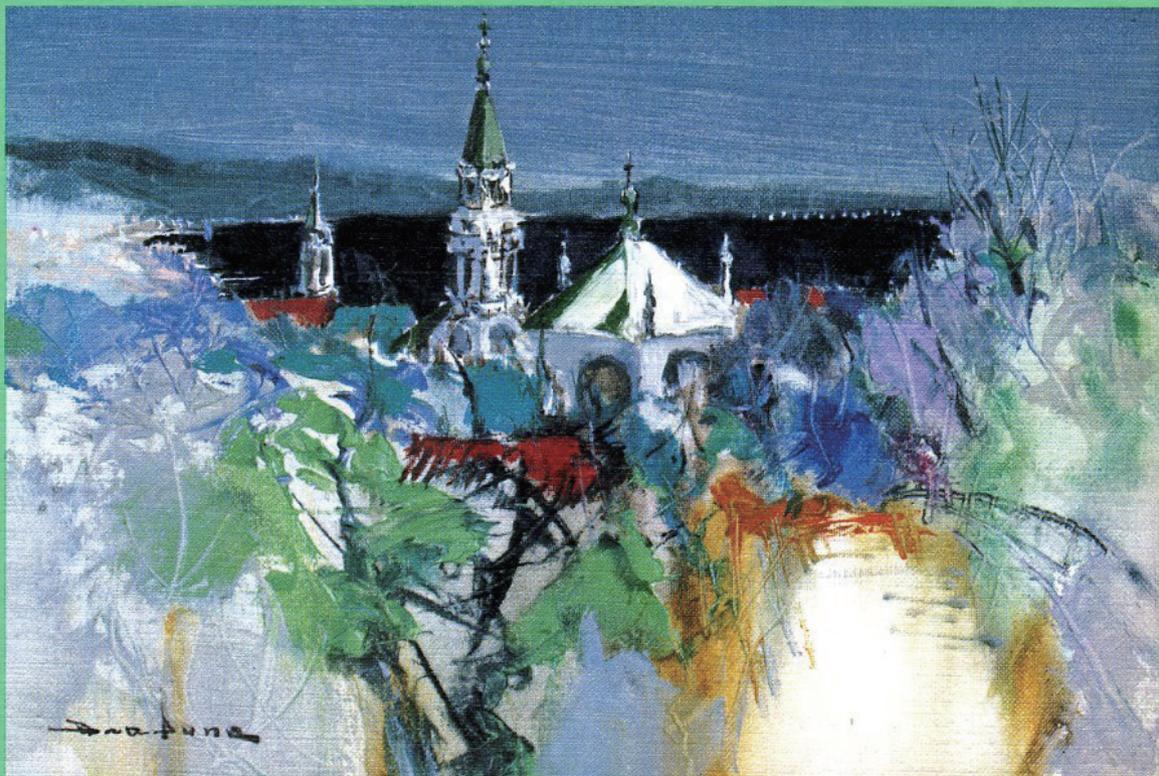


まぼろしの詩あしたの詩



日本作詩家協会年刊詩謡集

1978年版

詩人の詩としての詩

日本作詩家協会年刊詩謡集

1978年版

序文

藤 浦 洸

この詩謡集は あなた方会員の詩集です。あなた方が自分の力を発表し 世に示す詩集です。いわば 新らしい時代を作る作品集なのです。

どうぞ あなたがたの 力で盛りあげてください。

この作品集を通して お互いの友情のきづなをきづき

互いにはげましあって 幸栄の明日をつくりあげてください。

日本作詩家協会会員であるという 誇りと自信の作品の創作に絶えず心がけて下さい。

会員諸君の精進を祈って やみません。

(日本作詩家協会会長)

もくじ

序文……………	藤浦	洸……………	一
あな た……………	あかはた	元康……………	二六
あなたが好きよ……………	阿里	たかし……………	二七
母のぬくもり……………	愛	行子……………	二八
別れ雨・別れ町……………	愛川	あい……………	二九
流れ蝶……………	青木	三郎……………	三〇
失恋 大学……………	秋田	泰治……………	三一
昔話は聞かないで……………	浅野	哲秋……………	三二
波よ風よ流れる雲よ……………	芦田	しげる……………	三三
恋 挽 歌……………	飛鳥井	芳朗……………	三四
誇らかな退却……………	鮎川	公正……………	三五
祝 宴……………	荒川	利夫……………	三六
横浜―神戸・おんな恋……………	荒木	忠雄……………	三七
夜更けの酒場……………	有	美子……………	三八
夜明けのさよなら……………	有田	多賀子……………	三九
わたしは牧場のお嫁さん……………	淡島	千佳夫……………	四〇

松本発23時59分	いけや	かつとし	三
こよなく、美しく	いとう	恵みこ	三
秋なごり	いばら	城	三
今日も牧場に陽はのぼる	いわせ	ひろし	三
鏡よかがみ	五十川	式部	三
遠い潮風	井上	信子	三
砂浜	井田	誠一	三
雷電岬に雪がふる	伊丹	将人	三
忘れはしないよ	伊予	圭相	三
ツンツン盛り場数え唄	飯塚	義美	三
立待岬	池上	信	三
万葉恋歌	池田	充男	三
残月	石	一十	三
未練の雨	石井	吉明	三
しゃれた関係	石川	泰久	三
箸	石本	美由起	三
阿武北慕情	磯辺	貝	三
だらく	磯部	たけを	三
昼顔	一乗	蘭	三
目をはなさないで	市川	武志	三
ナオミという女	稲葉	爽秋	三
未練火	茨	つとむ	三
ああわが唄	岩崎	吉太郎	三

通 過 駅	宇山	清太郎	五
恋の三拍子	植田	竹雄	五
風の酒場	詩	和美	五
愛は横顔	宴	ゆり	五
ひざ小僧抱えて	江口	沈慧	五
海のポエム	江島	景子	五
雪、れんげ	榎本	勝春	六
花 心 中	海老沢	孝一	六
めおと旅	遠藤	英一	六
ひとりロック	おいだ	みのと	六
あいつとバーボン	おち	としこ	六
拳骨水滸伝	小川	比富美	六
初 恋 長 崎	小川内	のりを	六
君が代は永久に	小俣	ハチロウ	六
たそがれの勝負師	大坂	秀次郎	六
恋のバイオリズム	大澤	昭男	六
遠い町のホテル	大竹	ゆきを	七
私にやさしい六月の雨	大野	卓	七
喪服すがた	大橋	哲郎	七
宇 治 夜 曲	大森	富士子	七
ひとりでいると	大屋	哲夫	七
お前は どうして	大渡	弘良	七
演歌ひとすじ	逢坂	豊	七

水平線のくにざかい……………	岡野	極……………	七
花のおみくじ……………	岡本	和子……………	六
はぐれ恋歌……………	荻原	秀夫……………	五
黒磯心中……………	表	八千代……………	六
別れの宴……………	折戸	勝史……………	八
横を向いた神戸……………	かわうち	登……………	三
危険な雰囲気……………	甲斐	新……………	三
ビューテフルラブ……………	加藤	完二……………	四
或る六月の午后でした……………	加藤	省吾……………	五
枯葉の女……………	風見	瓊子……………	六
くるみの思い……………	角海	夜詩次……………	七
甲州街道八王子……………	門井	八郎……………	六
霧雨の波止場……………	叶山	奏……………	六
薄あかり……………	鎌田	まさる……………	七
あの日のマリはどこにいる……………	神山	清志……………	七
濡れたマツチ……………	川合	秀夫……………	七
寒い夜だぜ……………	河井	哲治……………	七
小雨の海峡……………	木立	雄幸……………	七
もと来た道はもどれない……………	木谷	鴻治……………	七
ゆびわ……………	菊地	英夫……………	七
わすれもの……………	北村	英明……………	七
さすらい星……………	北村	浩章……………	七
悲曲 想夫恋……………	くぼた	ぼく……………	九

恋のかけひき	九条	高嶺	二〇〇
逢えたなら	栗田	貞夫	二〇一
アカシャブルース	剣	あざみ	二〇三
きになる女のひとり旅	こばやし	克至	二〇三
雪 国	小池	虎夫	二〇四
おちよろ舟	小島	高志	二〇五
間に合ってます	小高	勝義	二〇六
風 見 鶏	小谷	健一	二〇七
別れの潮来唄	小林	金次郎	二〇八
野 火	小林	梢	二〇九
波止場恋唄	小林	すみ子	二一〇
つよがり	五条	ユキシロ	二一一
女の情念	古神子	民雄	二一二
野菊によせて	古頃	正章	二一三
ながさき・丸山・あじさい荘	児島	猿	二一四
追憶のトランペット	越野	みのる	二一五
喫茶店で	サトウ	幸史	二一六
女ながれて	さとう	いくこ	二一七
恋の玉手箱	佐久間	常夫	二一八
乙女の四季	佐東	たどる	二一九
下町ネオン花	佐藤	進	二二〇
城のない城下町	作藤	木章	二二三
希 理 子	佐藤	正美	二二三

ふるさと行きが発車する	佐野和子	二三
心 破 れ	芥藤ちえ	二四
仇花むだ花	斎藤宗三	二五
私	三技香	二六
傷 恋	阪口ふみし	二七
拾われて捨てられた	酒井国雄	二八
情 性	榊原康司	二九
愛の未来	咲山道雄	三〇
酒場 哀 恋	三丁目高詩	三一
悲しい恋	じゅん知央	三二
雉子のくる庭	四賀郷子	三三
荒 川 村	志摩勝也	三四
愛の 独 占	紫藤孝	三五
涙ぬぐってあげるから	篠田定吉	三六
海はオーケストラ	柴田よしかず	三七
幼 舞	島田磬也	三八
ゆきどけ たんぼみち	島田信義	三九
青いマニキュア	島本富美子	四〇
水上ブルース	周東敬二	四一
一 人 酒	白土やすじ	四二
雪国 幻 想	白水かおる	四三
山 育 ち	新保治平	四四
白 い 渚	新谷政浩	四五

噂の男 ミスタージョン	……………	すずき	こういち	一四八
春を待つ女	……………	すなが	しちろ	一四九
さよなら涙くん	……………	眇田	栄一	一五〇
木屋町しぐれ	……………	砂見	爽	一五一
恋よ走れ	……………	鈴木	昭一	一五二
啞えたばこの女	……………	鈴木	哲郎	一五三
母に捧げる詩	……………	鈴木	みつぐ	一五四
砂 涙	……………	鈴木	宗敏	一五五
不良少女ユカリの場合	……………	鈴木	夜詩夫	一五六
霧の別れ	……………	相馬	詩彦	一五七
雪ぐにのおんな	……………	相馬	日照	一五八
片 思 い	……………	たかぎ	かずお	一五九
夫婦屋台	……………	たなか	ゆきを	一六〇
ふるさとの十五夜を思う歌	……………	田中	凡夫	一六一
ボクは野良猫	……………	田畑	しげき	一六二
港のかもめ亭	……………	田村	和男	一六三
夜の履歴書	……………	田村	みどり	一六四
乳房喪失	……………	高上	あゆむ	一六五
捨てられて	……………	高瀬	臣子	一六六
憂 愁	……………	高野	礼子	一六七
おんなの館	……………	高橋	直人	一六八
郵便局へ届けておけよ	……………	高畑	和之	一六九
チンチロリン	……………	滝	わたる	一七〇

佐渡から小木から恋便り	竹田	勇人	一六九
夜が佗びしい	竹村	勝	一七〇
誤解	谷川	まさる	一七一
昔話を口ずさむ	谷田	草路	一七三
出会って輪島あま町で	玉木	一史	一七三
絵のなかの女	塚谷	清一	一七四
思い出よもえないで	土屋	正敬	一七五
織姫エレジー	寺岡	光義	一七六
北の海峡	天龍	掬雪	一七七
夜にすがって	土佐	友和	一七八
私生きてます	戸枝	ひろし	一七九
のこり火	戸成	ふさ栄	一八〇
また逢えるさよならを	鳥羽	貞子	一八一
霧の女	都城	光	一八二
ウイスパイ・ラブ	轟	路也	一八三
さよならなんて厭	中川	連	一八四
夜咲く花	中島	清一	一八五
新潟慕情	中野	惣太郎	一八六
乱れて	中野	美美世	一八七
女の秋	中林	きみを	一八八
ローカル線	中村	葭一	一八九
或る男のブルース	中山	二夫	一九〇
肩	夏	洋	一九一

関係各位様……………	並木	ひでを……………	二二
ごぞ唄越後ながし……………	成瀬	左千夫……………	二五
さすらい星……………	楠里	暁生……………	二五
そんな女がここにいる……………	難波	淑……………	二五
心に抱いてさよなら……………	にし	二郎……………	二六
ススキノ哀歌……………	丹羽	紅子……………	二七
初恋・ふるさと……………	西沢	爽……………	二六
おんなの童話……………	新見	洋介……………	二九
新宿夜風……………	のま	たくま……………	三〇
生命を三つ用意しな……………	能勢	英男……………	三〇
博多人形……………	野々山	光……………	三〇
街にあかりが点いたのに……………	はせべ	ゆり……………	三〇
屋台酒……………	はぜやま	清美……………	三四
忍ぶ橋……………	長谷川	洋……………	三五
聞いて下さいお話を……………	浜	実……………	三六
伴せへの別れ……………	林	秀夫……………	三七
薔薇日記……………	原	牧江……………	三八
ああ流れうた……………	伴在	主計……………	三九
山の宿……………	坂東	昇……………	三〇
恋の道行き……………	平井	健一……………	三一
恋未練……………	平川	正義……………	三一
恋の味……………	ふかまち	じゅん……………	三三
秋が来たよ……………	富士見	琴流……………	三四

しのび旅……………	傳	祖恭……………	三五
砧山のふるさと……………	藤原	逸露……………	二六
風の慕情……………	藤村	正……………	二七
秋をみつけた……………	藤本	良公……………	二八
なつかしい北の旅……………	文月	豊……………	二九
男の詩……………	古川	咲二……………	三〇
青い夏……………	ほし	ゆたか……………	三一
ふるさと酒場……………	北條	新太……………	三二
北陸線親不知……………	星合	節子……………	三三
惜春歌……………	星野	哲郎……………	三四
恋のかげろう……………	細川	憲哉……………	三五
信濃ひとこえ……………	細川	雄太郎……………	三六
君が好き……………	本間	繁義……………	三七
越路の女……………	本間	長三郎……………	三八
別れ、その愛……………	真弓田	幸一……………	三九
北の宿……………	前田	繁子……………	四〇
村一番のあの娘が通る……………	前田	利茂……………	四一
哀しい癖……………	前田	美木枝……………	四二
時は流れる……………	牧	房雄……………	四三
新宿海峡……………	増子	善典……………	四四
捨てられ女……………	松井	由利夫……………	四五
はぐれかもめの子守唄……………	松尾	ゆきを……………	四六
四番目における指は……………	松崎	咲子……………	四七

漁師になんかなりたくない	松	下	章一	二五八
小さな駅	松	平	博美	二五九
過去のさんげ	松	本	撰子	二六〇
女のいくさ	松	本	信夫	二六一
港女の心意気	松	山	幸二	二六二
男の甘さ	三	島	迪之助	二六三
尾道	三	益	武司	二六四
歌の夕やけ日がくれて	水	野	甚太郎	二六五
時計の国のメルヘン	水	野	徳好	二六六
一緒にドライブなさい	南		さとる	二六七
京都河原町	南		早苗	二六八
葡萄色の季節	南		由紀	二六九
民宿音頭	峰		よしを	二七〇
愛する街	宮	沢	章二	二七一
哀しみの橋	宮	田	隆	二七二
Side by Side (並んで) Hand in Hand (手をつないで)	むらやま	たけし		二七三
君の綿シャツ	村	上	文恵	二七四
朝をむかえて	村	田	安広	二七五
ポックリ 祈願	持	田	三郎	二七六
私の心はあの人のもの	百	瀬	淑子	二七七
鍵	や	まだ	りゅう	二七八
北の季節風	柳		英二	二五九

恋の最前線……………	柳	道子……………	二六〇
大黒様が来ないかな……………	山上	雅人……………	二六一
ゆるして わたしの立場……………	山口	純……………	二六二
字くずし演歌……………	山下	卓……………	二六三
はたち花……………	山田	晃義……………	二六四
待ちます波止場……………	山田	博康……………	二六五
はまり役……………	山本	哲生……………	二六六
ゆれてはずんで……………	湯浅	としあき……………	二六七
はじめて愛をうちあげたとき……………	雪野	斗詩夫……………	二六八
ハマナス岬……………	夢	虹二……………	二六九
夏の終りに……………	米沢	誠造……………	二七〇
雨上りの演奏会……………	わたべ	まちこ……………	二七一
ピップポパ……………	若山	かほる……………	二七二
でも離れられない……………	渡辺	治……………	二七三
夜汽車の女……………	渡辺	和於……………	二七四
合飲の木坂……………	渡辺	千楨……………	二七五
古い手紙……………	渡辺	久士……………	二七六
恋の縦走路……………	渡辺	摩耶……………	二七七
あとがき……………	井田	誠一……………	二七八

題字 西沢 爽
表紙 荒船利雄